

✳ 大垣市教育委員会だより

はぐくみ

vol.21

発刊
令和4年
11月

総合教育会議 市長と部活動の地域移行について意見交換を行いました

市長と教育委員会は、教育についての施策などを協議する総合教育会議を9月28日に開催し、部活動の地域移行について、意見交換をしました。

教育委員からは、「近隣他校との交流が、新たな子どもの居場所(サードプレイス)になることも期待できる」、「教育的な意義を残して、地域移行してもらいたい」、「薄謝や無償ボランティア依存では、持続的に活動できなくなる」、「部活動の地域移行と学校の働き方改革とは別の問題である」、などの意見が出されました。

この会議で出された意見や提言などを大切にしながら、今後の活動の在り方を検討してまいります。



部活動の地域移行について

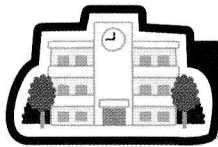
部活動の地域移行については、令和4年6月にスポーツ庁の「運動部活動の地域移行に関する検討会議の提言」が出され、8月に文化庁でも文化部活動について同様の提言が出されました。

これらの提言では、令和7年度末を目途に、まずは休日の部活動から段階的に地域移行していくことや、令和5年度から7年度までの3年間を改革集中期間とし、自治体における推進計画の策定や実施を行うことが示されました。

部活動の地域移行は、単に部活動を学校から切り離すということではなく、子どもたちの望ましい成長を保障できるよう、地域の多様なスポーツ・文化活動と一体的に進める必要があります。

本市では、地域移行の構想や計画の策定にあたっては、①子どもの豊かなスポーツ・文化活動の環境を整備することを第一義として構想や計画づくりに取り組むこと、②少年団等も含めた小学校から中学校までのスポーツ・文化活動をトータルに構想すること、③大垣市の実情に即した実施主体の決定をしていくことを大切にしていきます。

大垣市におけるスポーツ・文化活動は、施設の整備とともに、少年団や文化団体など地域の皆様が育んできた歴史と素地があります。こういった実情を踏まえた地域移行を推進してまいります。



学校

大垣市中学生親善使節団が鹿児島市を訪問しました

本市では、江戸時代に木曾三川の治水工事に尽力した薩摩義士を縁として、これからの時代を担う中学生が薩摩義士の偉業や歴史、鹿児島に住む人々の生き方を学びながら、大垣市と鹿児島市とのつながりを深める交流事業を行っています。

本年度は、市内各中学校の代表生徒10名が、大垣市中学生親善使節団として、7月27日から29日まで、2泊3日の日程で鹿児島市を訪問しました。



交流学习として、鹿児島市の中学生と一緒に、班別研修で薩摩義士ゆかりの地を巡ったり、薩摩義士碑の清掃・礼拝を行ったりして、先人の功績に触れる体験をしました。初めて見る桜島や錦江湾など、雄大な自然の恵みにも驚きました。

また、中学生意見交流会として、互いの学校における生徒会活動や行事の様子、それらに対する自分の思いなどをグループで語り合いました。

コロナ禍で3年ぶりの親善訪問でしたが、3日間の活動を通して、使節団の生徒たちは、先人の偉業に感銘を受けるとともに、その足跡が今を生きる私たちにまでつながっていることを実感し、今後の学校生活や自分の生き方について考える貴重な体験となりました。

また、8月3日から5日まで、鹿児島市の中学生親善使節団を大垣市に招待しました。大垣市の中学生使節団とともに、今度は西濃地域内にある薩摩義士ゆかりの地である千本松原や治水神社、関ヶ原合戦に参加した島津義弘勢の陣跡などを巡り、見識を深めました。





学校

大垣ミナモソフトボールクラブが体育の授業を支援しています

大垣市と大垣ミナモソフトボールクラブは、平成28年5月に、小中学校における体育授業等での指導支援に関する協定を締結しました。本協定は、体育の授業で実施するベースボール型授業等を通じて、児童生徒が基本的な技能を習得するとともに、体を動かすことの楽しさや喜びを体験しながら、「考える力」や「協調性」などを養うことを目的にしています。

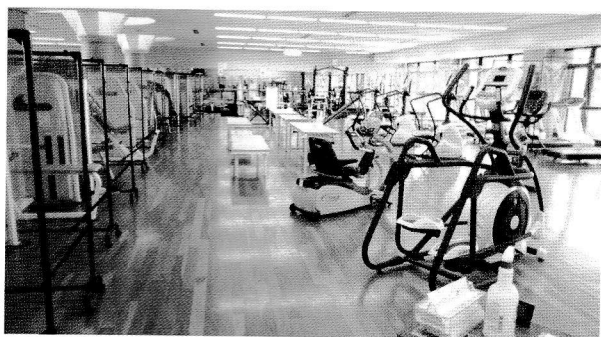
今年度は、17小学校から実施希望がありました。公式戦が予定されていない時期に、大垣ミナモソフトボールクラブの選手数名が体育の授業に参加し、児童に「捕る」「投げる」「打つ」などの技術を指導したり、一緒にゲームを楽しんだりしました。

9月に実施した小学校の授業では、練習した内容を活かせる簡易ゲームを行いました。まず、ホームベースに立った児童が思い切り外野にボールを投げます。それに対し、広がって守っている相手チームはそのボールを追いかけ、一人が捕ったら残りの仲間がそこに集まり、全員で「アウト!」と言います。その間に投げた児童はベースを全力で回り、何塁までいけるかで得点が決まります。全員が投げ終わったら、攻守を交代し、チームの合計点数で勝敗を競い合います。

緊張感のある中で始まったゲームでしたが、すぐに盛り上がり、チームで作戦を立てたり、仲間とアドバイスし合ったりしながら、どちらのチームも勝利に向かって一つになりました。



大垣市武道館トレーニングセンターを利用しませんか



大垣市武道館は、武道競技振興の中核施設として、平成10年6月にオープンしました。柔道、剣道、弓道、空手道の道場と相撲場に加え、市民の皆様も利用できるトレーニングセンターを併設しています。当センターには、ランニングマシン8台やエアロバイク6台など、多くのマシンがありますので、ぜひご利用ください。定期的にエアロビクス等の健康教室を開いています。

利用区分・時間・人数

- | | |
|-------------------|-------------------|
| (1) 9時00分～11時00分 | (3) 15時00分～17時00分 |
| (2) 12時00分～14時00分 | (4) 18時00分～20時00分 |
- ※各区分 定員35人

利用料金

- | | |
|-----|------|
| 一般 | 310円 |
| 中高生 | 210円 |



予約方法

受付日時：予約予定日の2日前の午前9時から午後8時(休館日を含む場合は3日)
 受付場所：トレーニングセンター窓口、または電話(0584-88-2558)
 休館日：毎週火曜日、その日が祝日の場合は翌日

利用方法
**完全
 予約制**
 です。

(公財)大垣市体育連盟HP



文化

「大垣祭図巻」が大垣市重要有形民俗文化財に指定されました

大垣八幡神社例祭である大垣祭は、370年余りの歴史を誇り、祭りで行われる山車行事は、「大垣祭の軸行事」として、国重要無形民俗文化財に指定されているとともに、「山・鉦・屋台行事」の一つとして、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。

「大垣祭図巻」は、江戸時代の大垣八幡神社例祭の様子を描いた絵巻で、作者や制作年代は明確ではありませんが、これまで知られていた『月岡画帖』などを少なくとも50年は遡るとみられ、大垣祭の最も古い姿を描いた絵画資料です。また、絵画に描かれている楽器や旗の一部は、実際に現物をご覧ください。大垣市郷土館で定期的に公開しますので、ぜひお越しください。



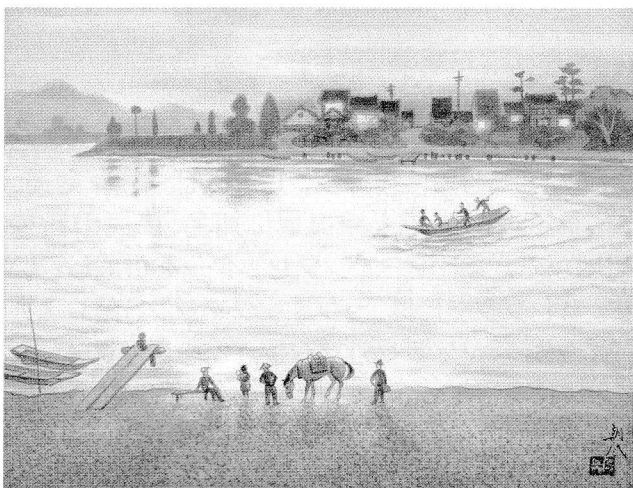
(大垣市蔵)

「生誕120周年記念 長谷川朝風展」を開催しています

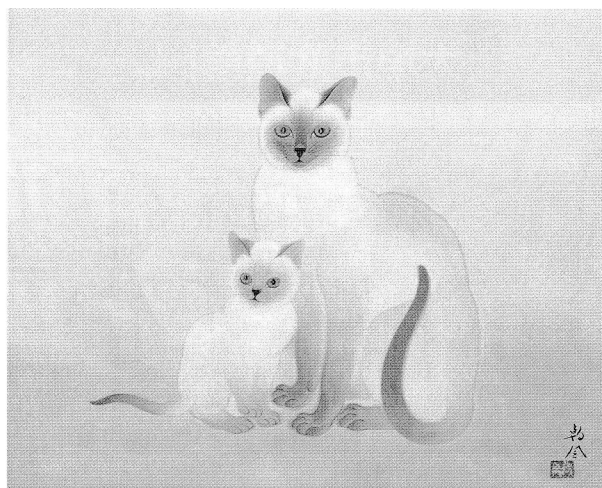
墨俣町出身の日本画家・長谷川朝風の生誕120周年を記念し、大垣市郷土館において、その画業を振り返る企画展を開催しています。

長谷川画伯は、数々の秀作を生み出し、「郷愁の日本画家」とも呼ばれており、日本芸術院の「大観賞」などを受賞するほか、俳人としても優れた才能を発揮しました。

本企画展では、郷愁を誘う風景画から、愛らしい動物や河童が描かれたユーモラスなものまで、さまざまな作品を紹介いたします。長谷川画伯の魅力に触れてみませんか。



(個人蔵)



(個人蔵)

「生誕120周年記念 長谷川朝風展」

会期 令和4年10月1日(土)～11月28日(月)

会場 大垣市郷土館

大垣市教育委員会

〒503-8601 大垣市丸の内2丁目29

TEL(0584)47-8022(直通) FAX (0584)82-6385

Email : kyouikusyomuka@city.ogaki.lg.jp

— 法務省 人権啓発キャッチコピー —
「誰か」のことじゃない。

油断せず 感染対策の継続を!
～手洗い マスク 人との距離～